



大 幼



令和4年度

園長だより No.7

令和4年 10月 31日

「なかよし集会」秋本番

運動会をきっかけに本来のなかよし集会の運営が再開しました。縦割り班を編成し、異年齢間で共に活動することを通して、年上から学び年下を思いやる態度を育てたり、多様性を感じコミュニケーション力を高めたりしたいと考えています。

特に年長さんにとっては、年長者としての自覚の場でありながら、自信をつける場でもあります。運動会に引き続いて活動し、活動を通して人との関わり方を学び、生きていくために必要な力を身につけて欲しいと思っています。

先週末は、附属小学校のオープンスクールがありました。幼稚園との違いをたくさん見つけたことでしょう。



キウイフルーツは動物に変身か？

今年は、なぜだかわかりませんが、キウイフルーツがたわわに実っています。お店で売られているものよりワイルドな感じで、丁寧にお世話をしなかったの小さい物が多く、食すには難しいと苦慮していました。

しかし、キウイの触感はザラザラであったり、深みのある色合いであったりして、動物として生まれ変われないかなと、考え始めました。

一方掘り出したサツマイモは、来月みんなでおいしくいただく予定です。

いのちを紡ぐ話



5歳児の前のテラスに、「カブトムシの幼虫のうんち」と書かれた虫かごが置かれています。覗き込んでみると、中には山ほどのうんちが入っていました。付け加えがあって「くさくないよ」とも書かれていたので、匂ってみました。確かにあの香りはありません。

アフリカサファリに行った時、象さんのうんちを見て「でかいなあ」とつぶやいた男の子がいたのを思い出しました。そういえば、小学校の教科書には、野生動物のうんちの上に生息するキノコの話もありましたし、ウサギは食べられるうんちが存在します。

先週末「命の授業」として、動物愛護センターの別木先生が犬を愛護する姿を通して「生きるということ」を話してくれました。子どもたちは、生きている証として、食べることや寝ることや動くことを考えていました。そして、「命を大切に人は、捨てないもんね。」というつぶやきが聞こえました。